

各位

不動産投資信託証券発行者名  
野村不動産マスターファンド投資法人  
代表者名 執行役員 吉田 修平  
(コード番号：3462)

資産運用会社名  
野村不動産投資顧問株式会社  
代表者名 代表取締役社長 安部 憲生  
問合せ先 NMF 運用グループ統括部長 岡田 賢一  
03-3365-8767 nmf3462@nomura-re.co.jp

### 資金の借入れに関するお知らせ

野村不動産マスターファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本日、下記のとおり、既存借入金2,000百万円（以下「既存借入金」といいます。）の借換えを目的とした資金の借入れ（以下「本件借入れ」といいます。）を行うことについて決定しましたので、お知らせいたします。

記

#### I. 本件借入れの理由及び内容

##### 1. 借入れの理由

2018年6月26日に弁済期限が到来する既存借入金の弁済資金に充当するため。

##### 2. 借入れの内容

借入方法：下記借入先を貸付人とする2018年6月22日付締結予定の各タームローン契約に基づく借入れ

借入先	借入金額 (百万円)	利率	借入 実行日	借入 期間	元本弁済日 (注1)	元本弁済 方法	担保の 有無
株式会社中国銀行	1,000	固定 (未定) (注2)(注3)	2018年 6月26日	6年 11ヶ月	2025年 5月26日	元本弁済日に 一括弁済	無担保 無保証
	1,000			7年 11ヶ月	2026年 5月26日		
合計	2,000						

(注1) 元本弁済日は、同日が営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。

(注2) 2018年6月22日付締結予定の各タームローン契約に基づき、借入実行日までに利率が決定されます。なお、金利は決定次第お知らせいたします。

(注3) 利払期日は、2018年11月26日を初回として、その後元本弁済日までの期間における毎年5月及び11月の各26日、並びに元本弁済日です。但し、同日が営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。

#### 3. 資金使途

① 調達する資金の額：2,000百万円

② 具体的な資金使途：2018年6月26日に弁済期限が到来するタームローン契約<sup>(注)</sup>に基づく既存借入金の弁済資金(2,000百万円)に充当するため。

(注) タームローン契約の内容については、野村不動産オフィスファンド投資法人が2018年6月20日付で公表した「資金の借入れに関するお知らせ」をご参照ください。

③ 支出予定時期：2018年6月26日



II. 本件借入れ及び既存借入金弁済実行後の有利子負債の状況

(単位：百万円)

	本件借入れ 及び既存借入金弁済 実行前	本件借入れ 及び既存借入金弁済 実行後	増減
短期借入金	500	500	—
1年内返済予定の 長期借入金（注1）	37,839	35,839	▲2,000
長期借入金（注2）	436,837	438,837	+2,000
借入金合計	475,177	475,177	—
1年内償還予定の 投資法人債（注1）	—	—	—
投資法人債（注3）	22,000	22,000	—
投資法人債合計	22,000	22,000	—
有利子負債合計	497,177	497,177	—

(注1) 第5期末（2018年2月末）を基準としています。

(注2) 1年内返済予定の長期借入金を除いた数値を記載しています。

(注3) 1年内償還予定の投資法人債を除いた数値を記載しています。

III. 今後の見通し

本件借入れによる2018年8月期（2018年3月1日～2018年8月31日）及び2019年2月期（2018年9月1日～2019年2月28日）の運用状況の予想に与える影響は軽微であり、運用状況の予想の変更はありません。

IV. その他

本件借入れに関わるリスクについては、2018年5月31日に提出した有価証券報告書記載の「第一部 ファンド情報／第1 ファンドの状況／3 投資リスク」から重要な変更はありません。

以上

※本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

※本投資法人のホームページアドレス：<http://www.nre-mf.co.jp>

